

# 令和5年度全国学力・学習状況調査における萩市の結果について（概要）

萩市教育委員会学校教育課

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 実施期日

令和5年4月18日（火）

### (3) 調査を実施した学校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	17校	275名
中学校第3学年	13校	270名

※ 弥富小、鈴野川小、相島小中は休校中。

### (4) 調査の内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語） ※令和5年度は英語を実施  
ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等  
イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査  
ア 児童生徒に対する調査（児童生徒質問紙）  
イ 学校に対する調査（学校質問紙）

## 2 教科に関する結果

### (1) 全体の結果

- **【県平均に対して】** 小学校は、国語は県平均と同等、算数は県平均を1ポイント下回った。中学校は、国語・数学は1ポイント上回り、英語は1ポイント県平均を下回った。
- 【全国平均に対して】** 小学校は、国語は全国平均と同等、算数は全国平均を2ポイント下回った。中学校は、国語は1ポイント、数学は2ポイント上回った。英語は、2ポイント下回った。

### (2) 教科ごとの結果

小学校				中学校			
区分	平均正答率 (%)			区分	平均正答率 (%)		
	萩市	山口県	全国		萩市	山口県	全国
国語	67	67	67.2	国語	71	70	69.8
算数	60	61	62.5	数学	53	52	51.0
				英語	43	44	45.6

(3) 各教科に見られる成果と課題

(○：相当数の児童生徒ができている点 △：課題がみられる点)

※ゴシックは特に課題が見られる点

【小学校国語】

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること

△**図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること**  
 (課題：学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法)

(グラフ：農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)

△学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

【図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること】に関する問題

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。  
 解答は、解答用紙に書きましょう。  
 ※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

○ ○ ○ (条件)  
 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。  
 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。  
 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

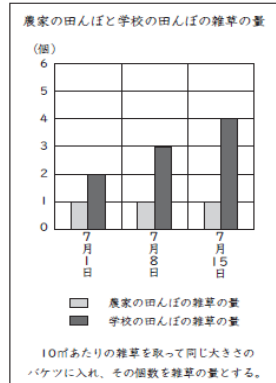
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア い がいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くらべて みました。ウ きかん は7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きまますか。あとの条件に合わせて書きましよう。  
 に学校の米作りに入る内容を

【解答例】

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

## 【小学校算数】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること
- 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いること
- 正方形の意味や性質について理解すること

△ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること

(二つの三角形の面積についてわかるものを記号で選び、その理由を言葉や数を使って書く)

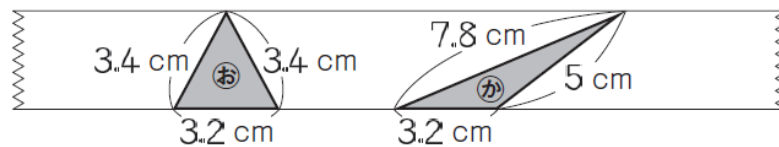
△ 正三角形の意味や性質について理解すること (一つの角は60度)

△ 百分率で表された割合について理解すること

△ (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えること

【高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断しその理由を言葉や数を用いて記述すること】に関する問題

- (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊟と㊧の2つの三角形をつくります。



上の㊟と㊧の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊟の面積のほうが大きい。
- 2 ㊧の面積のほうが大きい。
- 3 ㊟と㊧の面積は等しい。
- 4 ㊟と㊧の面積は、このままでは比べることができない。

【解答例】

【番号】 3

【わけ】

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。お と か の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。お と か の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、お と か の面積は等しいです。

【中学校国語】

- 目的や場面に応じて質問する内容を検討すること
- 事象や行為、心情を表す語句について理解すること
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと

- △文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること
- △文脈に即して漢字を正しく書くこと（おし量って）
- △読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること

【文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えること】に関する問題

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--

【解答例】

「よるづのこと」を「笠、竿、箒、籠、筆、箱、筒、箸。」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

【中学校数学】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えること
- 数と整式の乗法の計算ができること
- 四分位範囲の意味を理解すること

△ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること

- △空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解すること
- △複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
- △条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ること

【ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること】に関する問題

9 次の図1のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形ABCと、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

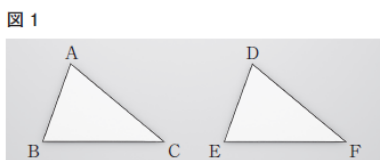
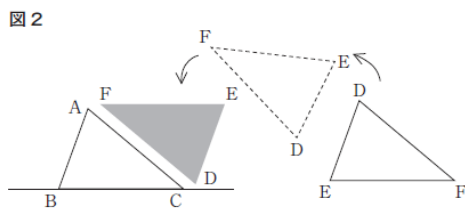


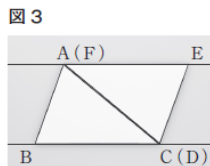
図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

①  $\triangle ABC$ を置いて、直線BCをひく。そして、図2のように、 $\triangle DEF$ を回して、点Fを点Aに、点Dを点Cに重ねる。

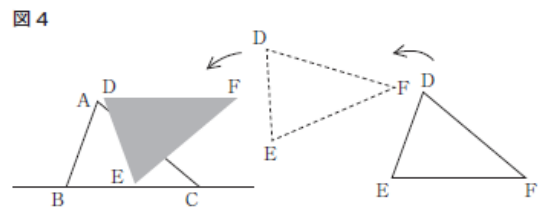


② 図3のように、点Aと点Fが重なった点をAとして、直線AEをひく。また、点Cと点Dが重なった点をCとする。

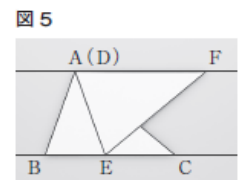


方法2

①  $\triangle ABC$ を置いて、直線BCをひく。そして、図4のように、 $\triangle DEF$ を回して、点Dを点Aに、点Eを直線BC上に置く。ただし、点Eは点Bと重ならないように置く。



② 図5のように、点Aと点Dが重なった点をAとして、直線AFをひく。



優奈さんは、方法1の直線BCと直線AE、方法2の直線BCと直線AFがそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ で、 $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ です。

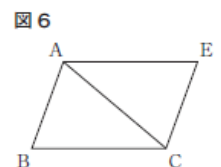


図6において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。

【解答例】

$\triangle ABC \cong \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しいから、  
 $\angle BCA = \angle EAC$   
 よって、錯角が等しいから、  
 $BC \parallel AE$

## 【中学校英語】

- 情報を正確に聞き取ること
- 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むこと

△日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと

- △疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くこと
- △社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと
- △「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと

## 【日常的な話題について事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと】に関する問題

**10** あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開発しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'mやdon'tなど）は1語と数え、符号（,や?など）は語数に含めません。

（例） No, I'm not. 【3語】

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	25
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	45

### 【解答例】

Our school has a school festival in October.  
In the festival, we have a chorus contest and  
we practice hard to win the gold prize.  
Many people come to listen to our songs

### 3 児童生徒質問紙の結果

◎「萩市ひとづくり推進計画」における成果指標に関わる質問項目を抜粋

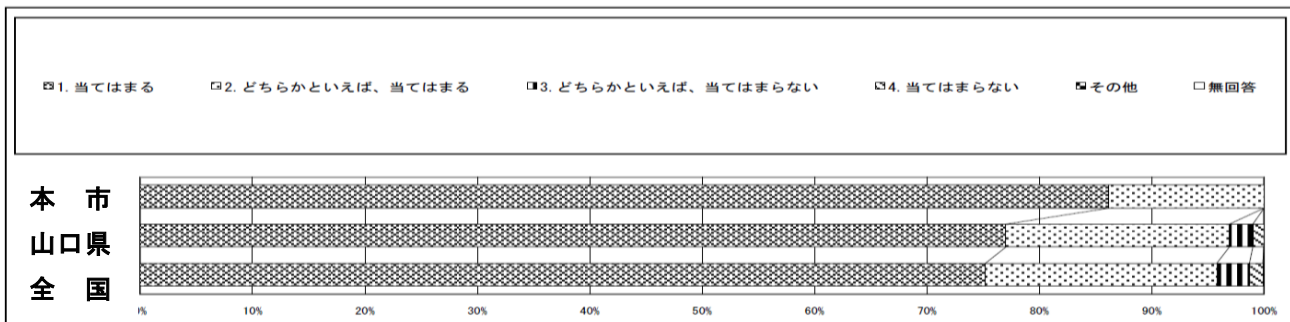
● 萩市として課題がある内容の質問項目を抜粋

#### ◎子どもたちの意識について

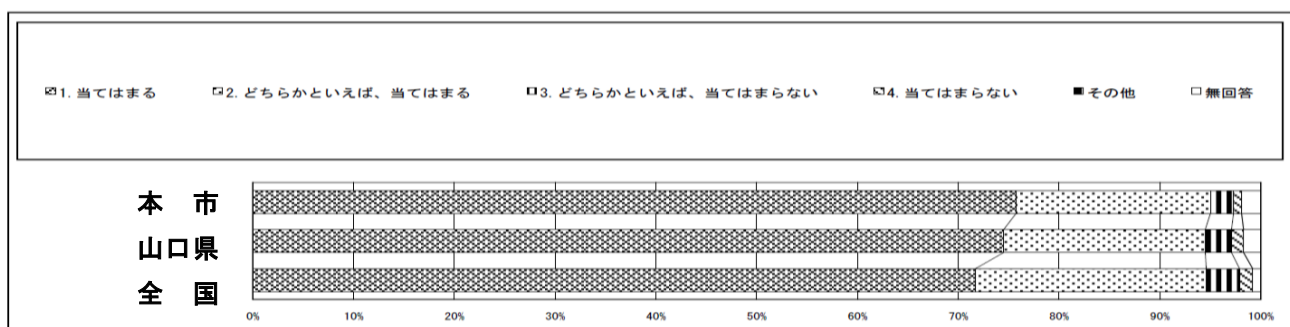
人の役に立つ人間になりたいと思っている子どもや、将来の夢や目標を持っている子どもの割合は、小・中学生ともに、県や全国と比べて高い。（R4と比較し、小学生が上がった）

質問：人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

##### 【小学校】

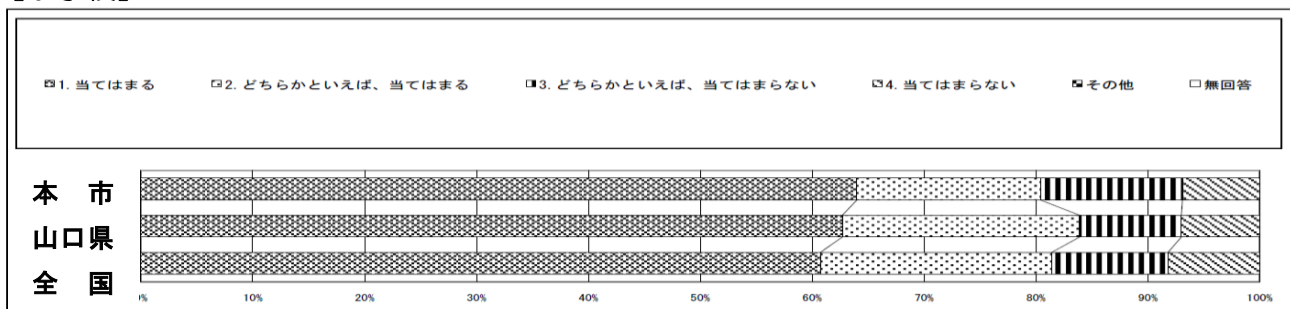


##### 【中学校】

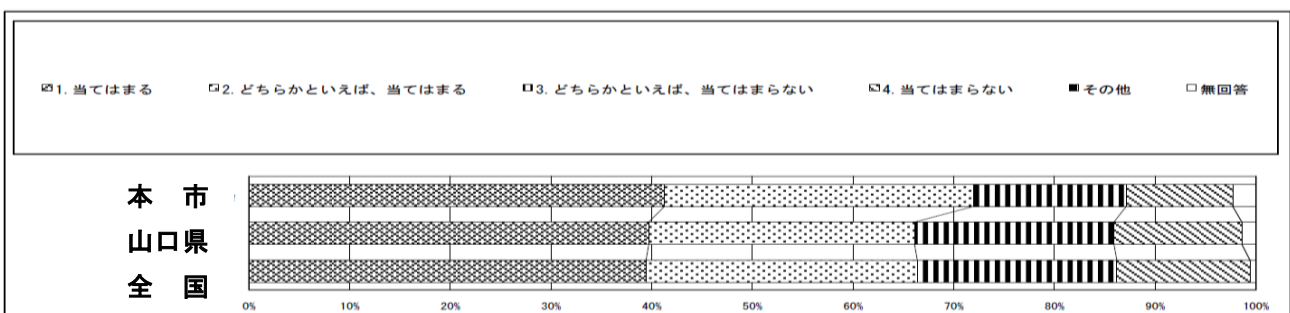


質問：将来の夢や目標を持っていますか。

##### 【小学校】



##### 【中学校】

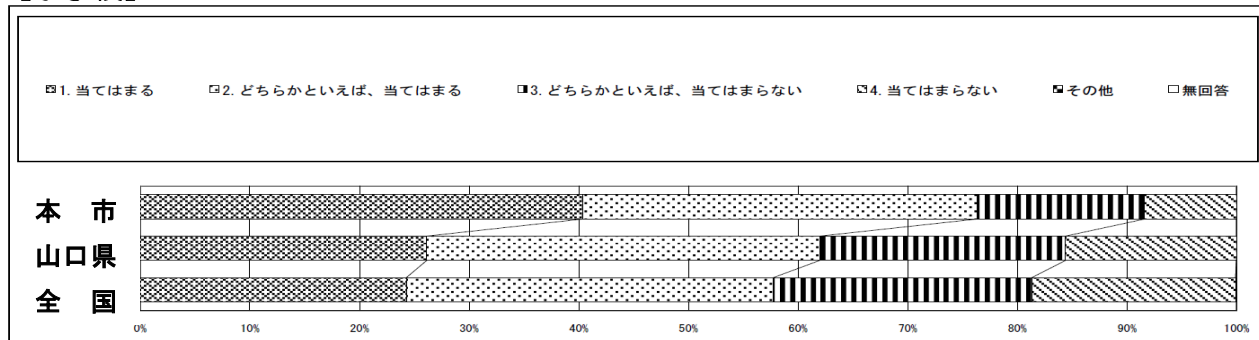


## ◎地域との関わりについて

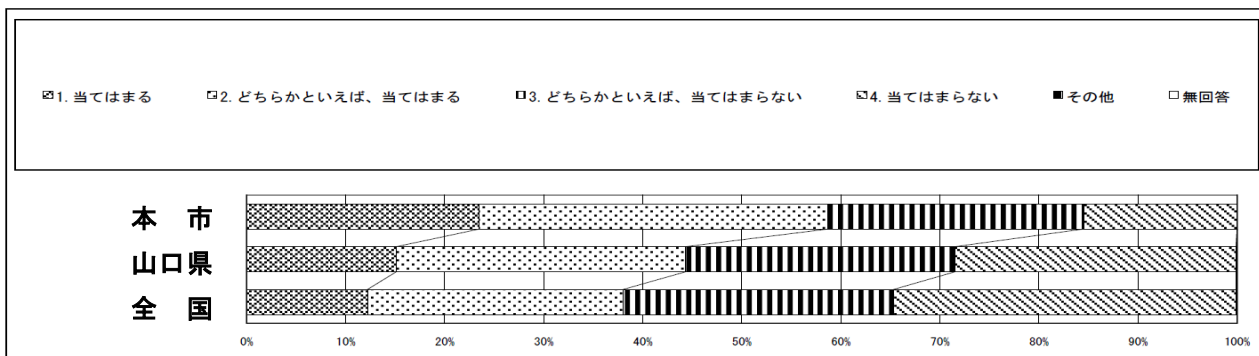
今住んでいる地域の行事に参加している子どもや、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている子どもの割合は、小・中学生ともに、県や全国と比べて高い。  
(R4と比較し、小・中学生ともに上がった)

質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか。

【小学校】

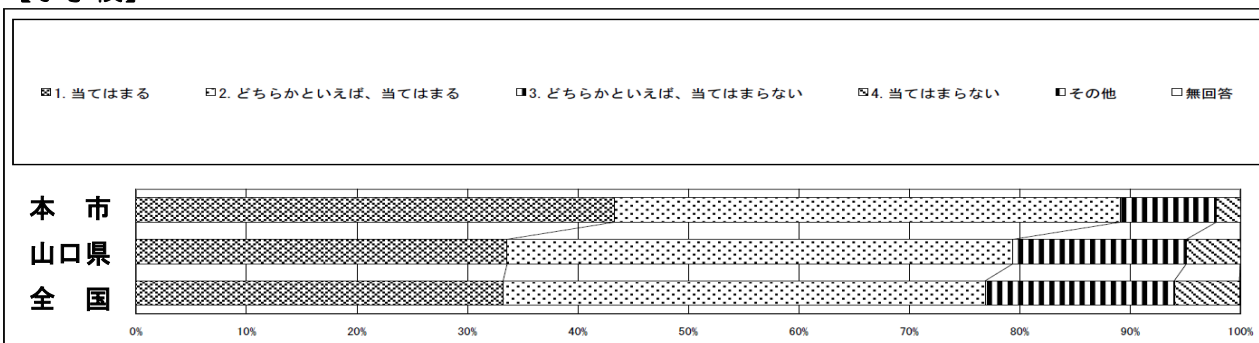


【中学校】

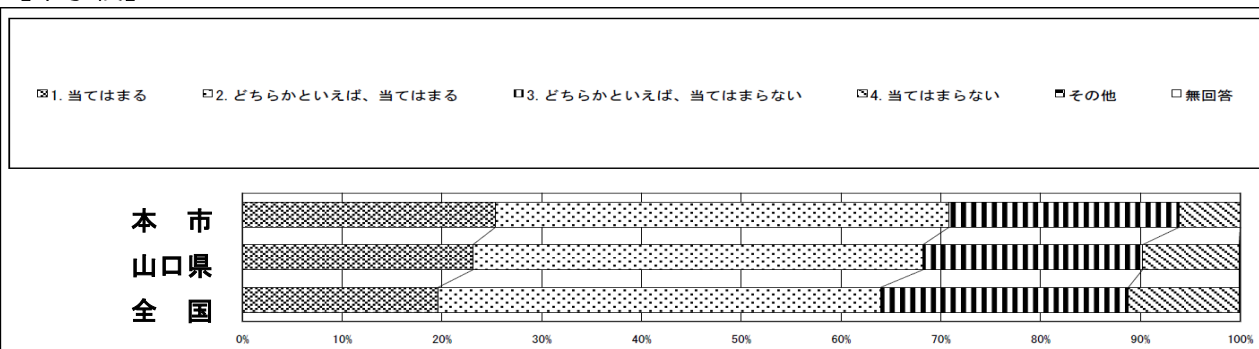


質問：地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

【小学校】



【中学校】



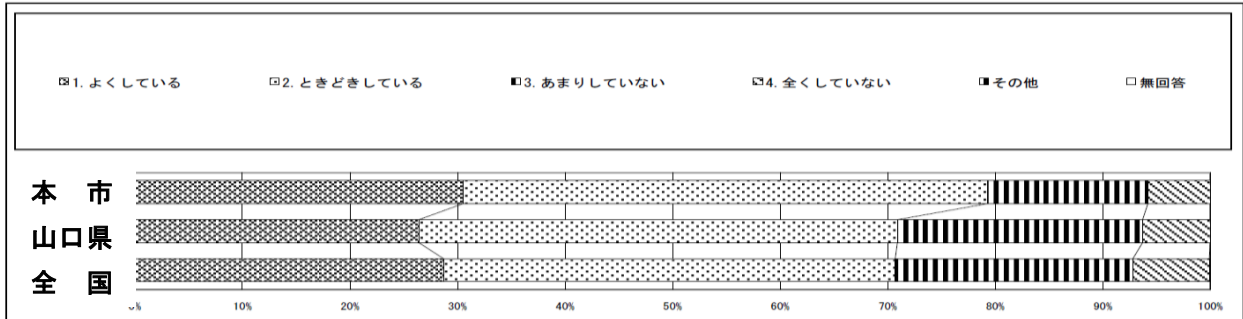


## ●学習習慣に関わること

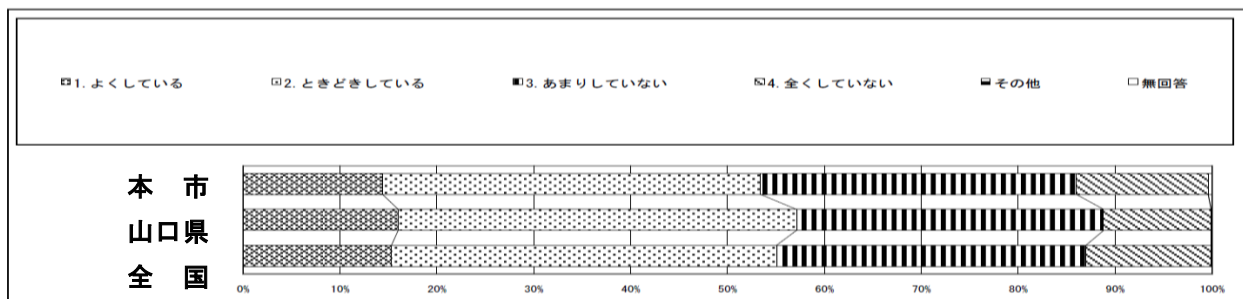
自ら計画的に学習を進めている子どもの割合は、全国や県と比べて小学生はやや高いが、中学生はやや低い。

質問：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む）

### 【小学校】



### 【中学校】

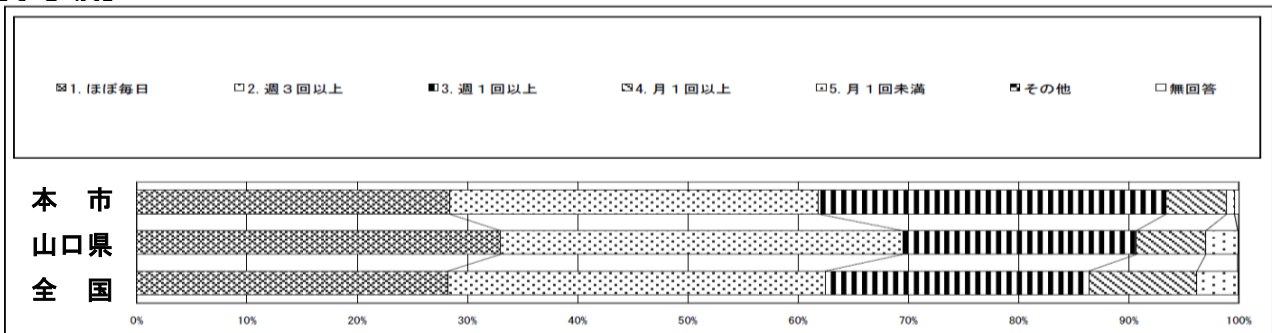


## ●ICTの活用及びICT機器に対する意識について

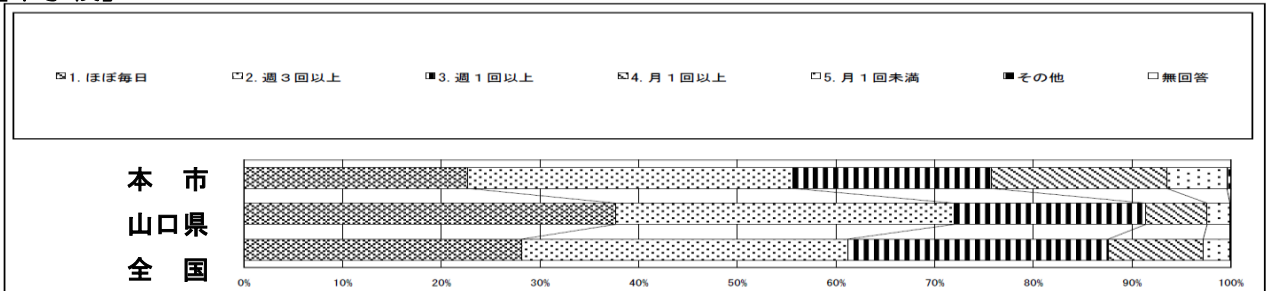
ICTを使用した授業の頻度は、小・中学校いずれも全国や県と比べて下回っている。

質問：5年生（中：2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

### 【小学校】



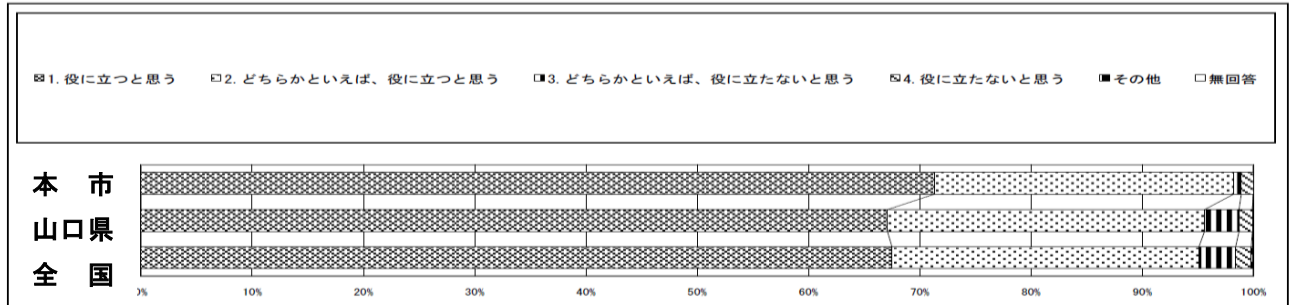
### 【中学校】



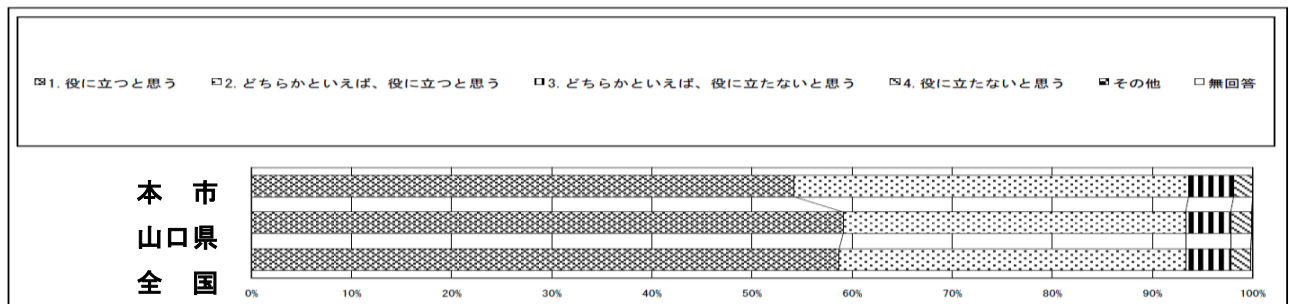
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思っている子どもの割合は、小学生は全国や県と比べて高いが、中学生はやや低い。授業以外での使用時間は、小学生はやや長く、中学生は全国や県と同等である。

質問：学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

【小学校】

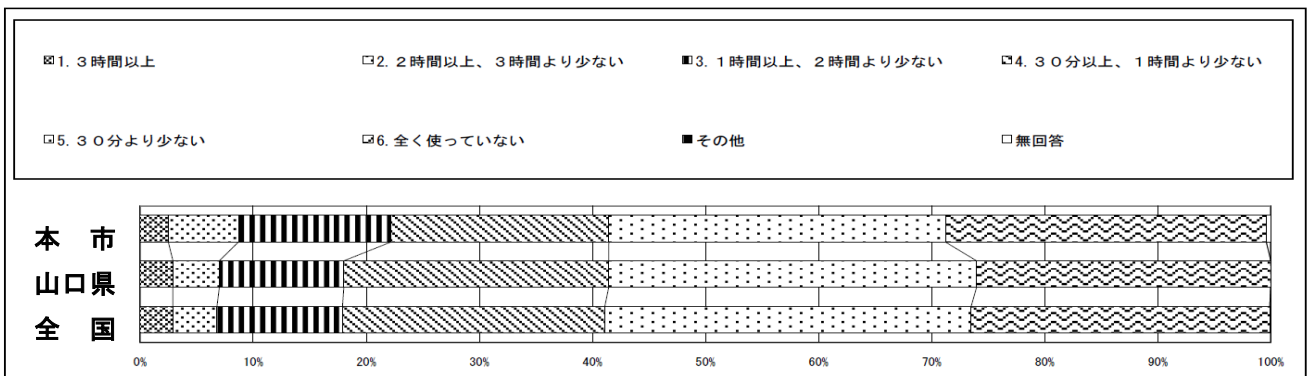


【中学校】

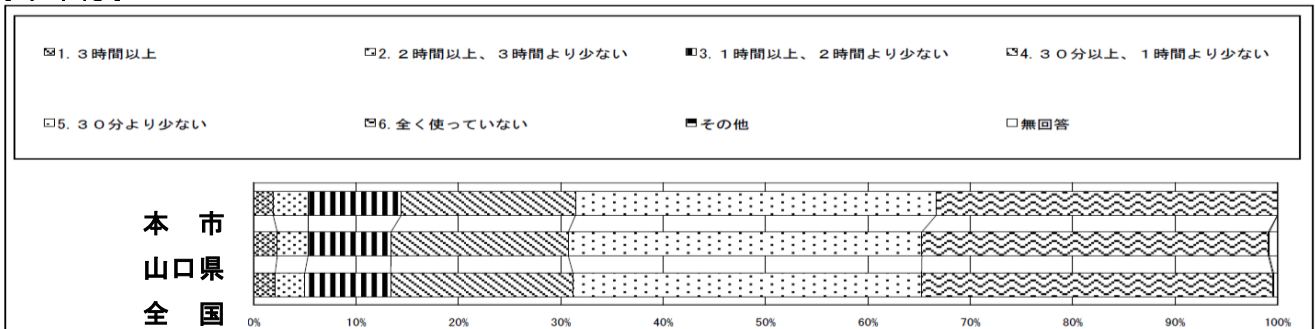


質問：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）。

【小学校】



【中学校】

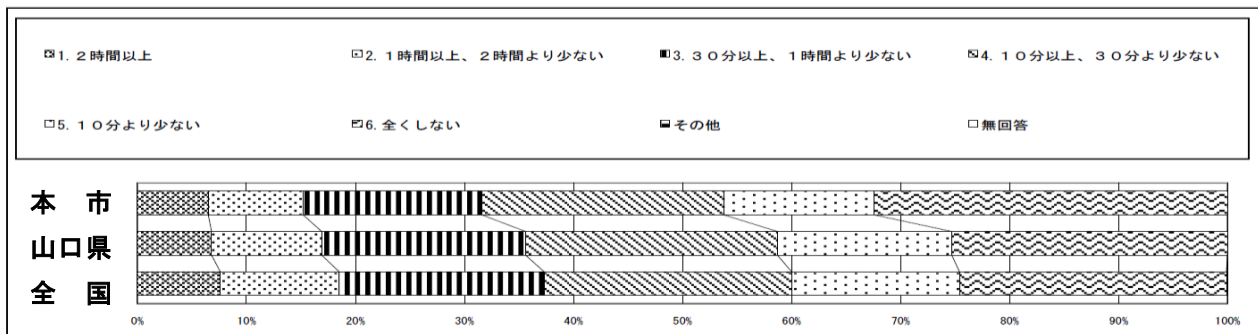


## ●読書習慣について

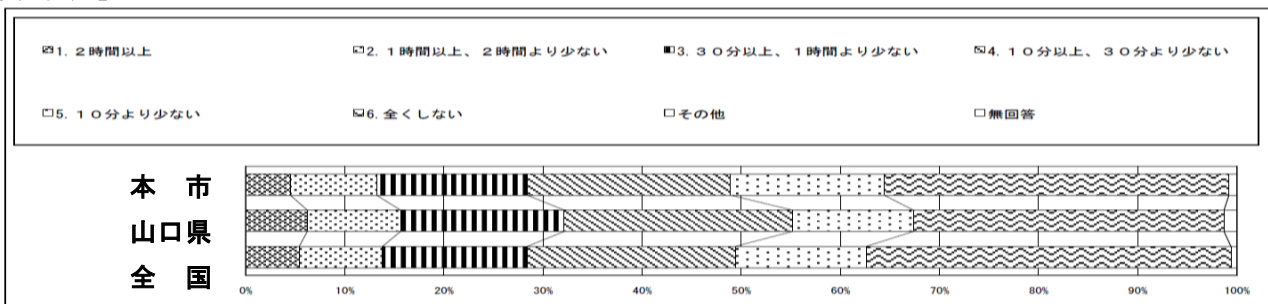
読書をする小・中学生の割合が、全国や県と比べてやや低い。

質問：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（電子書籍の読書も含む、教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

### 【小学校】



### 【中学校】



## 4 今後の重点取組事項

### （1）学校全体での組織的な取組・体制の充実

#### ① 調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けて

ア 児童生徒の課題に対して、即時的にすぐに手が打てる内容については、授業や家庭学習の中で早急に課題の克服を図る。また身につけた知識・技能を活用する課題解決的な学習を授業の中に意図的に仕組む。これらの内容を、校内研修に位置付けて、全教職員で継続的な取組を行い、改善を図る。【即時対応・組織的対応】

イ 正答だけでなく、誤答の記述や解答類型を分析することにより、児童・生徒が何に着目して、どのように思考しているのかを把握し、授業等で具体的に指導する。

【誤答分析による授業改善】

ウ 日々の授業で次のことに留意する。

- 児童・生徒に身に付けさせたい力を明確化した授業づくりをする。〈学びの自覚化〉
- 知識・技能の定着のため、反復・復習の時間を設ける。〈定着のための時間の確保〉
- つまづきのある児童生徒への支援を徹底する。〈個に応じた支援の徹底〉
- 視点を与えて学習を振り返らせることで、児童生徒が、自己の学びを自覚したり、更なる課題意識を膨らませたりできるようにする。〈振り返りの充実〉

エ ICT機器を効果的に活用した学習活動の展開により、児童生徒同士の学びあいを中心とした授業に変えることで、「主体的に考え行動する力」を育成する。【ICTの効果的活用】

※今後、導入したアプリケーションを効果的に活用できるようにする。

【指標とする質問】

・小学5年生（中学2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

（週3回以上使用 目標値：〈小〉37.6% (R4)→61.9% (R5) ⇒目標70.0%

〈中〉31.8% (R4)→55.7% (R5) ⇒目標70.0%

・学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

(2) 中学校区の小中学校間・家庭・地域との連携

【めざす青少年の姿】

- ふるさとに誇りと愛着をもつ青少年の育成
- 高い志と進取の気概をもつ青少年の育成
- 人や社会と積極的に関わる青少年の育成

① 地域の課題に向き合い、社会や地域の一員として何をなすべきかを考える学習活動を意図的・計画的に仕組み、学校・地域連携カリキュラムに位置付けた成果を検証する。

【指標とする質問】

・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

（目標値：〈小〉43.3% (R4)→89.1% (R5) ⇒増加させる

〈中〉52.0% (R4)→70.9% (R5) ⇒増加させる

・今住んでいる地域の行事に参加していますか。

・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

・将来の夢や目標を持っていますか。

② 望ましい学習習慣や読書習慣について、家庭・地域や関係機関と連携して、よりよい生活習慣の定着に向けた取組の改善を図る。

【指標とする質問】

・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

（目標値：〈小〉65.4% (R4)→79.2% (R5) ⇒増加させる

〈中〉57.7% (R4)→53.4% (R5) ⇒増加させる

・学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

(3) 市教委としての取組

○ 複式学習指導員やICT支援員および学力向上担当教員との定期的な情報交換・課題共有の場を設け、担当指導主事による学校への指導・支援体制の充実を図る。